

第 10 グループ

令和 / 年度 第 3 回 議事録

【年間テーマ】

業務優先から患者優先へ

令和 / 年 11 月 日提出

日付	令和 / 年 11 月 9 日 (土)			
場所	TKP がーデンシティ博多新幹線口 3-A		記録者名: 平島	
出席者 (敬称略)	ファシリテーター 川崎	書記 平島	発表 近藤	久木田
	政住	坂本		
テーマ	① どちらの所が業務優先なのか、② どちらが患者優先になるのか。			
結論	それぞれの病院でどちらのところが業務優先になっているのかを、意見を上げていった。 次回の発表に向けて、それぞれの病院で業務優先になっている現状を、それに対する改革案を提示し、その結果を発表する流れを決定した。			
決定事項	業務優先の現状の様子、改革案、結果をそれぞれの病院で例を上げていく。			
備考				
次回討論項目	それぞれの病院で実施したことを持ちよる。			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)

抑制廃止とケアの質を高める会 11月定例会 Q&A

先日、事務局に以下の質問が寄せられました。届けられた現場の悩みを私たちも共有しながら、一緒に考え、善い解決策を見出しましょう。

【A 病院からの Q】

急性期病院から転院してきた場合、前病院でミトン、体幹、四肢抑制をしていた、という患者さんが多いのですが、そのような場合（そのような情報があるのに）何もしないで事故につながるリスクを考えると、最初は抑制→解除の方向に向かうのが良いのかと考えてしまいます。最初は何もしなくて、その日のうちに経鼻胃管を抜いて、抑制（ミトン）という例も多いです。そのような情報を得ての判断基準、フローチャートなど他施設での流れを知りたいです。

【私たちの A】

- ・入院前の情報を元に、
- ・一時性、代償性、緊急性の条件に満たしているか。
- ・先生の判断と家族の同意

【B 病院からの Q】

- ① どの位の量の薬剤が抑制になるのでしょうか。
- ② 行動制限中、毎日観察は行っているが、評価は週1回、カンファレンスは4週に1回していますが・・・良いのでしょうか。

【私たちの A】

- ① 個人差がある。
日々の観察とドクターへの報告。
- ② 入院時、3日後、1週間後、(評価)
評価とカンファレンスを一緒にする。